

< 記載例 >

* この記載例は、所有権の登記名義人の氏名に旧氏を併記する申出を行う場合のもので
す。

※ 受付シールを貼るスペースになりますので、この部分には何も記載しないでください。

旧 氏 併 記 申 出 書

申出の目的 ○番所有権登記名義人表示変更（注1）

変更後の事項 氏名 法務 太郎（登記 太郎）（注2）

申 出 人 ○県○市○町二丁目12番地
 法 務 太 郎（注3）

添付情報
旧氏を証する情報（注4）（注5）（注6）

令和○年○月○日申出 ○○ 法務局（又は地方法務局）○○支局（又は出張所）

不動産の表示（注7）
不動産番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3（注8）
所 在 ○市○町一丁目
地 番 2 3 番

不動産番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0 1 2
所 在 ○市○町一丁目23番地
家屋番号 2 3 番

<解説及び注意事項等>

- (注1) 甲区(その不動産について所有権に関する登記の登記事項が記録される部分です。)何番の所有権の登記名義人(所有者)の氏名に旧氏を併記する(所有権登記名義人の表示を変更する)のかを表示します。付記登記(「・・・付記2号」などの登記)がある場合でも、主番号のみを記載します。
- (注2) 登記記録に記録されている所有権の登記名義人の氏名を記載し、括弧で併記を希望する旧氏及び名を併せて記載します。
- なお、併記することができる旧氏については、法務省HP (https://www.moj.go.jp/MINJI/minji05_00608.html) をご確認ください。
- (注3) 所有権の登記名義人(所有者)の現在の住所及び氏名を記載します。なお、押印は不要です。
- (注4) 旧氏を証する情報として、①併記を希望する旧氏が記載された戸籍の証明書(戸除籍謄本等)、②申出人の氏名、住所及び生年月日が記載された住民票の写し、戸籍の附票の写し等を提出してください。なお、併記を希望する旧氏が住民票の写しに記載されている場合には、上記①の戸籍の証明書の提出は不要です。
- (注5) 申出人の住所と所有権の登記名義人の登記記録上の住所が異なる場合には、住所の変更の過程が分かる住民票の写しや戸籍の附票の写し等を提出してください。
- (注6) 申出人の氏名と所有権の登記名義人の登記記録上の氏名が異なる場合には、申出に先立って氏名変更の登記をしてください。
- (注7) 申出をする不動産を、登記記録(登記事項証明書)に記録されているとおりに正確に記載してください。
- (注8) 不動産番号を記載した場合は、土地の所在・地番、建物の所在・家屋番号の記載を省略することができます。
- (注9) 申出書が複数枚にわたる場合は、各用紙のページ数と総ページ数を記載してください。